

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	道路照明灯LED化事業					
施策の大綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施策名	1 持続可能な地球環境の保全					
施策の内容	4 エネルギー対策の推進					
H26決算額	4,882千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,400千円		482千円

**【事業の概要】**

温室効果ガスの排出量の削減及び省エネルギー化を推進するために、市管理の道路照明灯について、既存の水銀灯、ナトリウム灯からLEDランプへの交換工事を実施しました。

[平成26年度分]

財源内容 地方債 4,400千円 一般財源 482千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
道路照明灯LED化工事	4,882	LEDランプへの交換工事(82基)
合 計	4,882	

[平成27年度への繰越分]

財源内容 地方債 6,500千円 一般財源 822千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
道路照明灯LED化工事	7,322	LEDランプへの交換工事(181基)
合 計	7,322	



市道Ⅰ級3号線（神立跨線橋上）

**【事業の成果】**

道路照明灯をLED化することにより、使用エネルギーの削減及び照明灯の長寿命化が図られ、環境負荷の低減と維持管理費用の削減に寄与します。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路ストック総点検事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	4 市民が安全に生活できる交通環境の整備					
施策の内容	1 交通安全施設の整備充実					
H26決算額	42,001千円	財源内訳	国県支出金 23,100千円	地方債	その他	一般財源 18,901千円

**【事業の概要】**

老朽化が進んでいる路面や照明施設、擁壁・法面などの道路ストックについて損傷状態を把握するための点検を実施しました。（平成25年度国の補正予算（第1号）対象事業）

**[点検内容]**

- ①市道Ⅰ級・Ⅱ級路面性状調査 L=145km
- ②照明施設点検 181基
- ③擁壁、法面点検 L=144km

**[平成25年度からの繰越分]**

財源内容 国県支出金 23,100千円 一般財源 18,901千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
道路ストック総点検事業業務委託	42,001	路面性状調査, 照明施設, 擁壁及び法面点検
合 計	42,001	



路面性状調査



道路照明灯



擁壁



法面

**【事業の成果】**

道路の老朽化対策として、インフラ施設（道路ストック）の点検結果に基づき、今後計画的な予防的修繕を推進することにより、市民が安心・安全に生活できる交通環境を確保します。



款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	橋梁耐震対策事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施策の内容	8 橋梁震災対策の推進					
H26決算額	53,172千円	財源内訳	国県支出金 20,400千円	地方債 29,100千円	その他	一般財源 3,672千円

【事業の概要】

地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図るために、橋梁の耐震補強工事等を実施しました。

[平成25年度からの繰越分]

財源内容 国県支出金 12,732千円 地方債 22,800千円 一般財源 2,898千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
国道6号2号橋（永国跨道橋）	2,916	耐震補強工事実施設計委託
桜川1号橋（銭亀橋）	35,514	耐震補強工事
合 計	38,430	

[平成26年度分]

財源内容 国県支出金 7,668千円 地方債 6,300千円 一般財源 774千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
国道6号3号橋（中高津跨道橋）	3,078	耐震補強工事実施設計委託
国道6号2号橋（永国跨道橋）	11,664	耐震補強工事
合 計	14,742	

[平成27年度への繰越分]

財源内容 国県支出金 19,963千円 地方債 16,400千円 一般財源 1,133千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
国道6号2号橋（永国跨道橋）	17,496	耐震補強工事
国道6号3号橋（中高津跨道橋）	20,000	耐震補強工事
合 計	37,496	



国道6号2号橋（通称：永国跨道橋）



国道6号3号橋（通称：中高津跨道橋）

【事業の成果】

耐震補強工事の実施により、大規模地震が発生した場合でも橋梁の損壊を防ぐことが可能となり、避難路及び緊急輸送路を確保することができるようになります。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	橋梁長寿命化修繕事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施策の内容	8 橋梁震災対策の推進					
H26決算額	20,034千円	財源内訳	国県支出金 9,713千円	地方債 7,100千円	その他	一般財源 3,221千円

【事業の概要】

橋梁の老朽化が進んでいるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、新川9号橋（通称：神天橋）他1橋の長寿命化工事等を実施しました。

[平成26年度分]

財源内容 国県支出金 9,713千円 地方債 7,100千円 一般財源 3,221千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
新川9号橋（神天橋）	972	長寿命化修繕工事
国道6号2号橋（永国跨道橋）	7,560	長寿命化修繕工事
土浦高架道他1橋	11,502	橋梁長寿命化修繕詳細設計委託
合 計	20,034	

[平成26年度橋梁長寿命化修繕事業詳細設計委託箇所]

(単位：m)

番 号	橋 梁 名 称	橋 長	幅 員
1	土浦高架道	1,125.0	7.5
2	国道6号3号橋（中高津跨道橋）	28.5	3.5

[平成27年度への繰越分]

財源内容 国県支出金 15,212千円 地方債 11,200千円 一般財源 4,790千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
国道6号2号橋（永国跨道橋）	11,340	長寿命化修繕工事
国道6号4号橋（天川跨道橋）	19,862	長寿命化修繕工事
合 計	31,202	



新川9号橋（通称：神天橋）



国道6号2号橋（通称：永国跨道橋）

【事業の成果】

計画的かつ予防的な修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化を図り、老朽化する橋梁の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行い、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することができるようになります。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路新設改良事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	3 生活道路の整備					
H26決算額	714,199千円	財源内訳	国県支出金 95,324千円	地方債 511,000千円	その他	一般財源 107,875千円

【事業の概要】

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図るために、主要幹線道路及び生活関連道路の整備に係る次の工事を実施しました。

- ・ 幹線道路，その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・ 歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

[整備路線]

①市道Ⅰ級1号線	L = 160m	W = 5.0~6.0m
②市道Ⅰ級9号線	L = 132m	W = 8.2m
③市道新治Ⅰ級12号線	L = 110m	W = 5.0~6.0m
④市道真鍋一丁目13号線	L = 130m	W = 5.6m
他24路線	L = 3,443m	W = 4.0m~13.0m

[平成25年度からの繰越分]

財源内容 国県支出金 50,668千円 市債 163,000千円 一般財源 19,942千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	206,797	15件 延長 2,537m
用地取得費	26,813	3路線 2,018㎡
合 計	233,610	

[平成26年度分]

財源内容 国県支出金 44,656千円 市債 348,000千円 一般財源 87,933千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	84,732	40件 延長 9,710m
工事請負費	310,161	28件 延長 3,975m
交通安全施設工事	900	3件 区画線等
用地取得費	17,140	24路線 4,638㎡
物件移転補償費	56,957	立木，工作物，電柱移設費等
役務費	8,515	鑑定料，登記料
事務費等	2,184	
合 計	480,589	

[平成27年度への繰越分]

財源内容 国県支出金 55,344千円 市債 215,100千円 一般財源 35,985千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	29,370	8件 延長 3,250m
工事請負費	262,251	16件 延長 2,613m
用地取得費	6,050	4路線 987㎡
物件移転補償費	8,758	3路線
合 計	306,429	





①市道 I 級1号線



②市道 I 級9号線



③市道新治 I 級12号線



④市道真鍋一丁目13号線

[道路整備状況（平成27年4月1日現在）]

市道全体延長	1,513,277 m	( 6,913 路線)
改良済延長	702,067 m	( 改良率 46.39% )
舗装済延長	1,161,395 m	( 舗装率 76.75% )

#### 【事業の成果】

幹線道路や狭あいな市道について、拡幅改良，舗装及び交通安全施設工事を実施することにより，道路網の整備を図り，生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	道路新設改良事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	3 生活道路の整備					
H26決算額	94,545千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				84,600千円		9,945千円

【事業の概要】

日常生活における市民の利便性を向上させ、市の一体性の速やかな確立を図るために、主要幹線道路及び旧新治村と市街地を連絡する幹線道路の整備に係る次の工事を実施しました。

- ・ 幹線道路その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・ 歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

[整備路線]

市道新治中30号線改良工事 L=213m W=6.0m  
他2路線 L=127m W=6.6m~8.5m

[平成25年度からの繰越分]

財源内容 市債 35,400千円 一般財源 4,136千円 (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	39,536	2件 延長 290m
合計	39,536	

[平成26年度分]

財源内容 市債 49,200千円 一般財源 5,809千円 (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	45,358	3件 延長 340m
用地取得費	1,209	1路線 274m <sup>2</sup>
物件移転補償費	8,442	立木, 工作物, 電柱移設費等
合計	55,009	

[平成27年度への繰越分]

財源内容 市債 45,800千円 一般財源 13,212千円 (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	54,712	3件 延長 352m
用地取得費	3,000	1路線
物件移転補償費	1,000	1路線
役務費	300	鑑定料, 登記料
合計	59,012	



市道新治中30号線改良工事

【事業の成果】

主要幹線道路及び旧新治村と市街地を連絡する幹線道路について、拡幅改良、舗装及び交通安全施設工事を実施することにより、道路網の整備を図り、生活環境の向上に寄与します。

さらに、混雑などの交通事情を改善し、新市内のネットワークの構築に寄与します。



款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

事業名	都市下水路整備事業・小規模排水路整備事業		
-----	----------------------	--	--

施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
-------	---------------------------------	--	--

施策名	5 浸水被害に強いまちづくり		
-----	----------------	--	--

施策の内容	1 都市下水路の整備		
-------	------------	--	--

H26決算額	189,184千円	財源内訳	国県支出金 35,250千円	地方債 117,000千円	その他	一般財源 36,934千円
--------	-----------	------	-------------------	------------------	-----	------------------

**【事業の概要】**

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する下水道施設の整備工事等を実施しました。

なお、都市下水路整備事業については、国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して、実施しています。

◎都市下水路整備事業

- ・西真鍋都市下水路施設整備工事      U2,500mm×1,800mm      L = 70m
- ・天川上高津都市下水路施設整備工事      U1,800mm×1,500mm      L = 70m
- ・西根竹の入都市下水路施設整備工事      U2,200mm×1,900mm      L = 50m
- ・中貫都市下水路基本計画      L = 9.4km

※西根竹の入都市下水路施設整備工事については、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用

◎小規模排水路整備事業

- ・虫掛地内小規模排水路施設整備工事      L = 189m
- ・常名地内小規模排水路施設整備工事      L = 74m
- ・田中二丁目地内小規模排水路施設整備工事      L = 52m
- ・荒川沖地内小規模排水路施設整備工事      L = 100m
- ・木田余地内小規模排水路施設整備工事      L = 19m

[平成25年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費（都市下水路分）	42,715	工事1件
整備費（小規模排水路分）	25,058	工事2件
総計	67,773	

[平成26年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費（都市下水路分）	82,902	工事2件、実施設計1件
整備費（小規模排水路分）	38,509	工事5件、実施設計2件
総計	121,411	

天川上高津都市下水路



施工前



施工後

**【事業の成果】**

3路線の都市下水路施設整備及び5路線の小規模排水路施設整備等を行い、大雨による浸水被害の減少を図りました。また、今後も計画的に下水道施設の整備等を行うことにより、市民の生活環境の向上に寄与します。



款	土木費	項	都市計画費			
事業名	協働のまちづくり基金事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	3 景観の向上					
施策の内容	2 歴史的景観の整備					
H26決算額	6,070千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
					5,794千円	276千円

【事業の概要】

◎助成対象事業

(1) 市民提案事業

市民団体の提案する公共性や公益性の高い事業を「協働のまちづくりファンド運営委員会」で選定し、助成を行います。

上限5,000千円 補助率4/5 以内

(2) 景観形成事業

「旧城下町とその周辺地区」及び「JR土浦駅周辺地区」の表通りにおいて、歴史的建造物等の保存や修景補助を行います。

・歴史的建造物（景観重要建造物、指定文化財、登録文化財）の復旧、修理等

上限5,000千円 補助率2/3 以内

・中城通り地区の建築物における修景整備

上限3,000千円 補助率2/3 以内

・上記以外の建築物における修景整備

上限1,500千円 補助率1/2 以内

・門、塀等の外構

上限1,000千円 補助率1/2 以内

・屋外広告物の修景

上限300千円 補助率2/3 以内

・自動販売機、空調設備、電気設備等の修景

上限300千円 補助率2/3 以内



市民提案事業（おおつ野地区）  
通りの愛称看板設置事業



景観形成事業（中城通り地区）  
ポケットパーク設置事業

[平成26年度の基金活用状況（負担金補助及び交付金）] (単位：件，千円)

	件数	補助金額
(1) 市民提案事業	1	934
(2) 景観形成事業	3	4,860
合計	4	5,794

[歳出内訳] (単位：千円)

	支出額
報償費（運営委員会）	75
旅費	10
需用費	2
積立金	189
合計	276

【事業の成果】

平成26年度から、「土浦市協働のまちづくり基金」を活用した助成事業（ハード事業）を開始しました。本年度は、市民提案事業1件、景観形成事業5件を事業認定し、歴史的景観の保全と市民協働によるまちづくりが推進できました。

また、ソフト事業の平成27年度開始に向けた制度設計を進め、ハード事業を活用した団体や、設立間もない団体が活動を軌道に乗せるために活用し、継続的に地域のまちづくり活動に貢献していけるような支援体制が整いました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	亀城モール整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H26決算額	129,783千円	財源内訳	国県支出金 53,664千円	地方債 54,300千円	その他	一般財源 21,819千円

【事業の概要】

中心市街地の中心地に位置する川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、亀城モール整備を行い、歩行者や自転車の安全性を高めるとともに快適な都市空間を形成します。

また、当該計画箇所は、土浦駅前やモール505から亀城公園までに至る中間に位置することから、市民及び来訪者の憩いの空間づくりを行います。

平成26年度は、事業実施に当たり、用地買収及び移転補償を行いました。

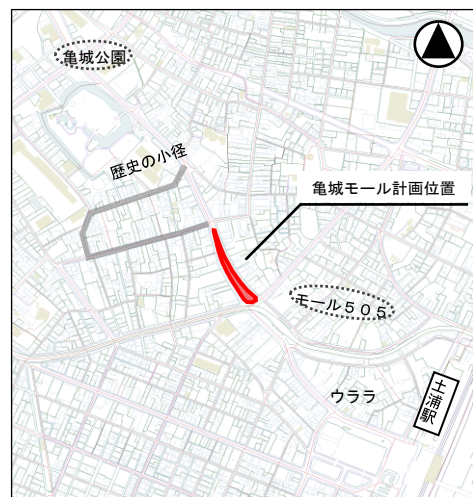
- ・整備年度：平成26～29年度
- ・事業面積：約2,900㎡

[平成26年度分] (単位：千円)

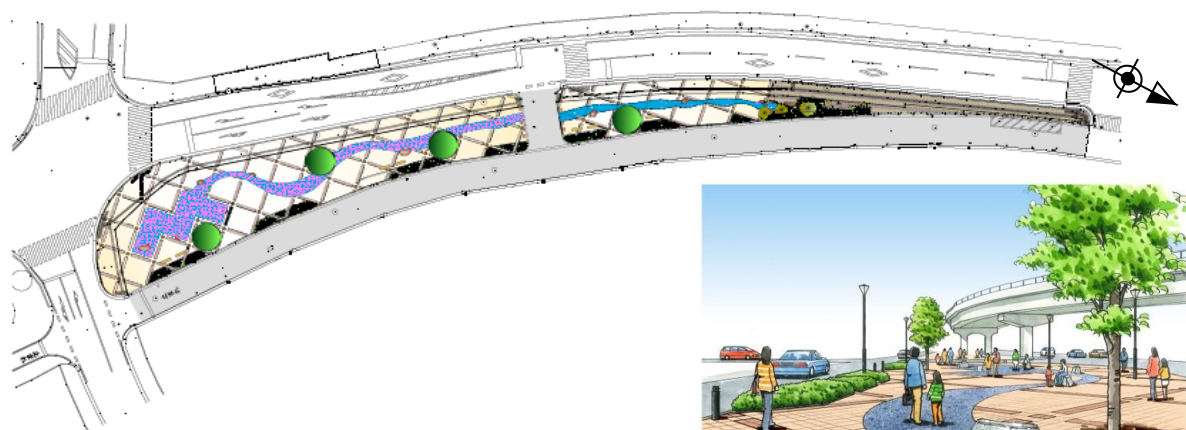
区分	事業費	概要
需用費	4	収入印紙代
役務費	14,173	鑑定料等
委託料	500	事業調整委託料
工事請負費	562	侵入防止柵設置費
用地取得費	9,160	6筆, 167㎡
補償金	105,384	4棟
合計	129,783	

[平成27年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
役務費	8,424	鑑定料等
合計	8,424	



計画位置図



整備イメージ

【事業の成果】

平成26年度は、用地取得等により整備に向けた進捗が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	かわまちづくり事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備					
施策の内容	6 良好な水辺空間の整備					
H26決算額	5,774千円	財源内訳	国県支出金 513千円	地方債 400千円	その他	一般財源 4,861千円

【事業の概要】

平成25年度に国土交通省のかわまちづくり支援制度に登録された「土浦市かわまちづくり計画」を推進するため、遊歩道やカヌー等船着き場の設計及びベンチ設置工事等を実施しました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	4,536	桜川及び霞ヶ浦の水辺における遊歩道やカヌー等船着き場等の設計業務を実施しました。また、市民のアイデアを設計に反映させるためのワークショップを実施しました。
工事請負費	1,026	桜川左岸（銭亀橋付近）にベンチ2基を設置しました。
報償費等	212	桜川及び霞ヶ浦の水辺遊歩道上に設置する距離標デザインの公募等を行いました。
合計	5,774	



ワークショップの様子



設置したベンチ（桜川左岸、銭亀橋付近）



水辺遊歩道の距離標デザインの最優秀作品2点

【事業の成果】

ワークショップや距離標デザインの公募により、協働のまちづくりの推進に寄与するとともに、設計業務やベンチ設置工事の実施により、中心市街地に近接する桜川や霞ヶ浦の水辺におけるまちと水辺が融合した良好な空間形成の実現に向けた進捗が図られました。



款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦駅西口広場整備事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備					
H26決算額	42,134千円	財源内訳	国県支出金 16,620千円	地方債 14,900千円	その他	一般財源 10,614千円

【事業の概要】

土浦駅西口広場の交通状況については、歩行者、バス、タクシー、一般車の通過交通等がふくそうし危険であることや、市庁舎の移転や図書館を核とした土浦駅前北地区市街地再開発事業を進めていくことにより、広場周辺の更なる交通量の増加が見込まれていることから、その交通混雑の解消と利用者の安全性の向上を図ります。

- ・事業期間 平成25年度～平成29年度
- ・広場面積 A=9,800㎡

[平成25年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	18,180	日本庭園撤去工事
委託料	14,680	広場詳細設計、シェルター詳細設計等
合計	32,860	

[平成26年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	5,278	日本庭園撤去工事
委託料	3,996	ペDESTリアンデッキ耐震性照査
合計	9,274	



タクシー・一般車施設 整備イメージ



バスターミナル 整備イメージ

【事業の成果】

「バスターミナル」と「タクシー・一般車施設」を区分し、交錯する動線を解消することや広場内における歩行者の車道横断を極力少なくすることにより、安全性の向上が見込まれます。

また、ウララ前の一方通行やりそな銀行前の食い違い交差点を解消することにより、西口広場に進入していた通過交通の排除及び交通の円滑化を図ります。

さらに、シェルターやサイン等を併せて設置することで、利用者の利便性を向上し、公共交通機関の利用促進を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	歴史の小径整備事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	3 景観の向上					
施策の内容	2 歴史的景観の整備					
H26決算額	69,604千円	財源内訳	国県支出金 35,211千円	地方債 15,900千円	その他	一般財源 18,493千円

【事業の概要】

亀城公園（土浦城址）を中心とした歴史的資源と道路との調和による独自の町並み形成と回遊性のある快適な歩行空間の創出により、中心市街地の活性化を図るため、土浦小学校の改築に合わせて、電線地中化及び歩道整備を伴う道路修景工事を実施しました。

- ・事業期間 平成23年度～平成26年度
- ・整備延長 L=410m  
幅員 W=4.7～8.35m

[平成25年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	65,253	道路修景工事
委託料	4,351	電線地中化工事委託（土浦CATV）
合計	69,604	



整備前



整備後

【事業の成果】

電線地中化及び道路修景工事により、本市の歴史を継承する風格と個性ある景観形成に寄与しました。

また、歩道の整備により、歴史的資源が多い当該地区における回遊性を向上させるとともに、通学児童の安全性向上に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	既存建築物耐震化促進事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施策の内容	9 既存建築物等の耐震化の推進					
H26決算額	6,008千円	財源内訳	国県支出金 4,472千円	地方債	その他	一般財源 1,536千円

【事業の概要】

昭和56年法改正以前の木造住宅を対象に、耐震診断士派遣による無料診断の実施や、耐震改修計画作成費・耐震改修工事費・耐震シェルター（ベッド）設置費を補助します。また、耐震改修促進法の改正により耐震診断が義務付けられた民間大規模建築物の診断費を、国・県との協調の下に補助することで、既存建築物の耐震化を促進し、地震に強い安全に暮らせるまちづくりを目指します。

[平成26年度実施状況]

事業名	事業費(補助額)	概要
①木造住宅耐震診断事業	454千円 (37.8千円×12戸)	昭和56年法改正前の木造住宅を対象に茨城県木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断を行うことで危険度の認識を図るとともに、耐震改修を促進します。
②木造住宅耐震計画作成費補助事業	0千円 (100千円×0戸)	耐震診断を実施した住宅のうち、危険度の高い住宅（耐震診断における上部構造評点が1.0未満）の耐震改修計画作成費を補助します。
③木造住宅耐震改修工事費補助事業	0千円 (300千円×0戸)	耐震計画を作成した住宅を対象に、危険度の高い住宅の耐震改修工事費（上部構造評点が0.3以上上昇し、かつ1.0以上となる工事）を補助します。
④耐震シェルター設置費補助事業	0千円 (250千円×0戸)	耐震診断を実施した住宅のうち、危険度の高い住宅（耐震診断における上部構造評点が1.0未満）の耐震シェルター（ベッド）設置費を補助します。
⑤耐震診断義務付け建築物診断費補助事業	5,554千円 (5,554千円×1戸)	平成25年11月25日に施行された耐震改修促進法により、耐震診断が義務付けられた民間大規模建築物（5,000㎡以上の店舗等）の耐震診断費を補助します。
合計	6,008千円	

[過去の実績推移]

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	合計
①木造住宅耐震診断事業	100件	300件	20件	20件	20件	20件	106件	52件	19件	12件	669件
②木造住宅耐震計画作成費補助事業	—	—	—	—	2件	2件	2件	1件	0件	0件	7件
③木造住宅耐震改修工事費補助事業	—	—	—	—	1件	1件	2件	1件	0件	0件	5件
④耐震シェルター設置費補助事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0件	0件
⑤耐震診断義務付け建築物診断費補助事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1件	1件



耐震診断の様子

【事業の成果】

耐震診断は、一定の受診者が毎年おり、市民の住宅に対する安全性の意識向上に寄与しています。

一方、改修工事については、件数が伸び悩んでおり、今後もPR等に努めていく必要があります。また、耐震シェルター設置についても、申込みが無かったため、PR等に努めていく必要があります。

事業を引き続き実施することで、個々の住宅だけではなく、まち全体の地震に対する安全性の向上が期待されます。



款	土木費	項	都市計画費			
事業名	川口田中線・木田余神立線・神立停車場線街路事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H26決算額	234,946千円	財源内訳	国県支出金 42,640千円	地方債 79,600千円	その他	一般財源 112,706千円

【事業の概要】

◎川口田中線

市道Ⅱ級41号線（旧国道354号）から土浦警察署西側交差点（立田町）までの区間を整備することで、全線開通を図り、市街地内の東西軸道路ネットワークを構築します。

- ・事業期間 平成21年度～平成28年度（Ⅲ期）
- ・整備延長 L=469m
- 幅員 W=16.0m

[平成25年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	58,678	道路改良工事
公有財産購入費	34,141	用地取得費
補償補填及び賠償金	18,503	補償金
役務費等	842	不動産鑑定等
合計	112,164	



位置図

◎木田余神立線

木田余東台地内から神立配水場までの区間（延長L=800m）については、平成24年7月に供用開始しました。引き続き、都市計画道路中貫白鳥線から北側の未整備区間を整備し、南北軸の道路ネットワーク強化を図ります。

- ・事業期間 平成24年度～平成31年度（Ⅱ期）
- ・整備延長 L=328m
- 幅員 W=12.0m

[平成26年度分]

(単位：千円)

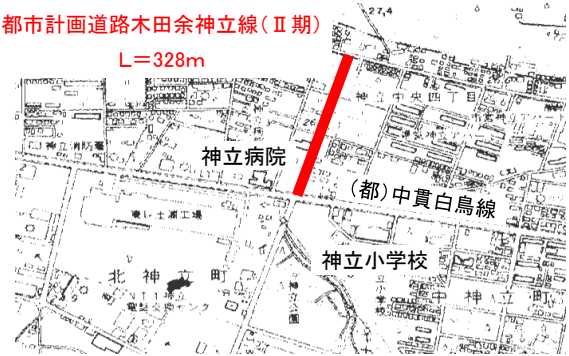
区分	事業費	概要
委託料	5,346	用地測量
役務費等	2,786	不動産鑑定等
合計	8,132	



平成24年度供用開始区間

都市計画道路木田余神立線(Ⅱ期)

L=328m



位置図

◎神立停車場線

神立駅西口地区土地区画整理事業に併せて、神立駅から国道6号までの区間を本市とかすみがうら市が整備することにより、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築するものです。

- ・ 事業期間 平成23年度～平成29年度
- ・ 整備延長 L=283m
- 幅員 W=22.0m

[平成25年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
補償補填及び賠償金	33,211	補償金

[平成26年度分]

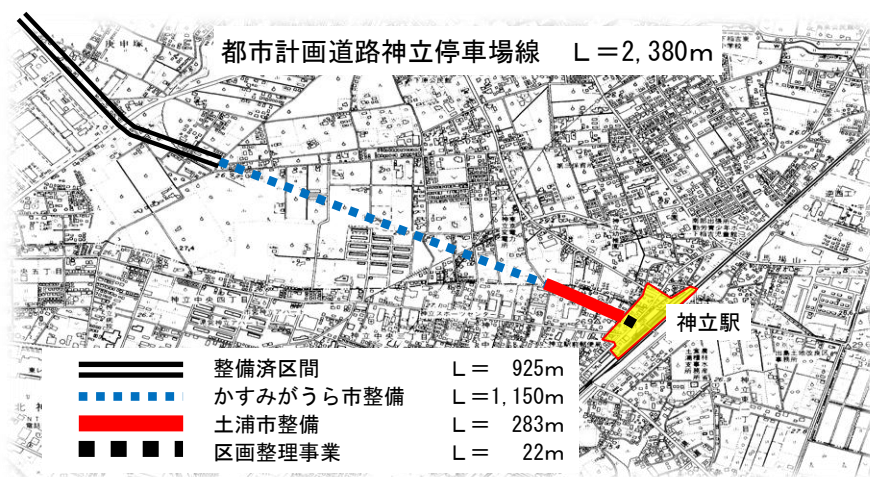
(単位：千円)

区分	事業費	概要
補償補填及び賠償金	76,716	補償金
役務費等	4,723	不動産鑑定等
合計	81,439	

[平成27年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
補償補填及び賠償金	43,293	補償金



位置図

【事業の成果】

交通アクセスの向上はもとより、市街地及び周辺地区の交通混雑が緩和されるとともに、歩道整備による安全な歩行空間の確保を図るなど、円滑で快適な交通体系を構築します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	2 地域の特性を活かした市街地の整備					
施策の内容	2 神立駅周辺地区の整備					
H26決算額	203,888千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				90,500千円		113,388千円

**【事業の概要】**

神立駅西口地区において、西口駅前広場及びアクセス道路の神立停車場線等の都市施設整備を、土地区画整理事業により一体的に行い、駅前にふさわしい市街地の形成を図ります。

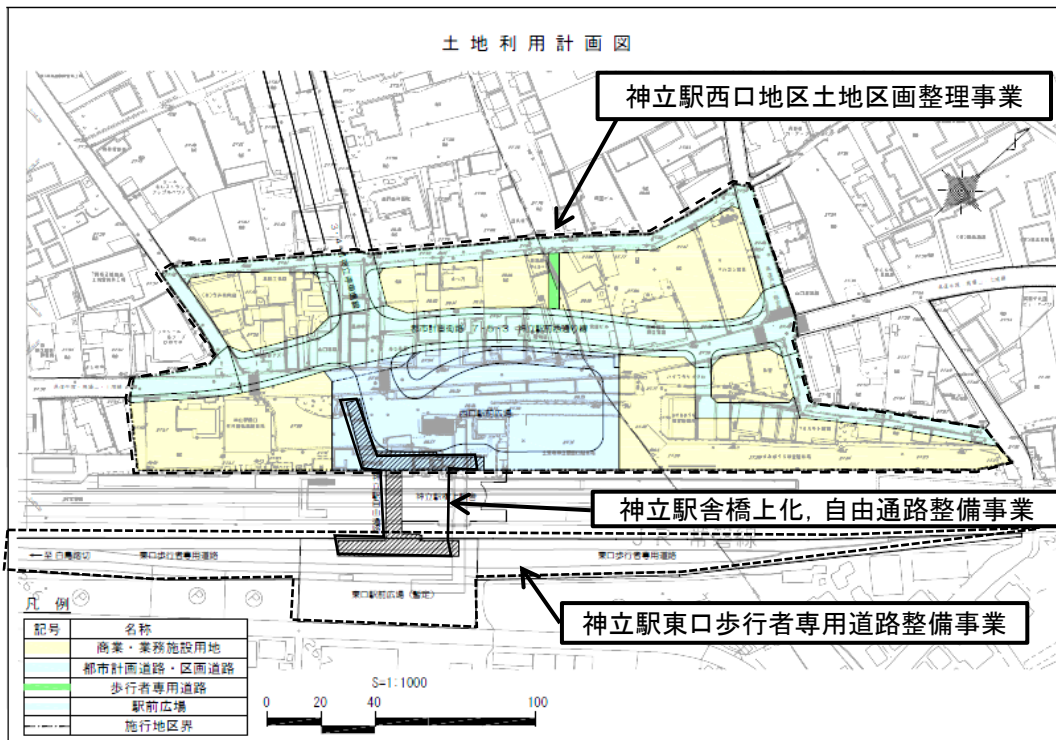
- ・地区面積 約2.2ha（土浦市 1.3ha、かすみがうら市 0.9ha）
- ・権利者 42人（土地所有者 24人、借地権者 18人）
- ・都市施設概要 都市計画道路神立停車場線W=22m, L=23m  
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む。）  
都市計画道路神立駅前西通り線W=15m, L=約210m
- ・総事業費 約55.5億円（関連事業費を除く。）

**[事業経過]**

- ・平成18年度 神立駅西口地区土地区画整理事業B調査
- ・平成23年度 神立駅西口地区土地区画整理事業等の都市計画決定
- ・平成24年度 神立駅西口地区土地区画整理事業の事業計画決定
- ・平成25年度 神立駅西口地区土地区画整理審議会設立、減価買収、建物詳細調査等
- ・平成26年度 換地設計、仮換地の指定、建物等移転補償開始

**[関連事業]**

- ・駅舎橋上化整備事業、自由通路整備事業、東口歩行者専用道路整備事業



**【事業の成果】**

平成26年度は、減価買収を終了し換地設計を行い、平成27年2月に審議会の同意を経て仮換地の指定を行いました。これにより、同月から区域内の支障物に対して、所有者と建物等移転補償契約を事業の進展に合わせて開始しました。また、駅舎橋上化及び自由通路新設に伴う実施設計について、JR東日本株式会社と協定を締結するなど、事業の進展を図り、神立駅を中心とした健全で活力のある市街地形成の推進に寄与しました。



款	土木費	項	都市計画費			
事業名	常名虫掛線街路事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H26決算額	97,730千円	財源内訳	国県支出金 34,797千円	地方債 56,000千円	その他	一般財源 6,933千円

【事業の概要】

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状道路として、整備を進めます。

- ・事業期間 平成22年度～平成29年度
- ・整備延長 L=1,435m  
幅員 W=16.0m

[平成25年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	59,165	道路改良工事
委託料	1,943	事業認定図書作成等
補償補填及び賠償金	1,501	補償金
合計	62,609	

[平成26年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	34,279	道路改良工事
委託料等	842	用地測量，不動産鑑定等
合計	35,121	

[平成27年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	92,488	道路改良工事
委託料	3,000	事業認定申請書作成等
合計	95,488	



位置図

【事業の成果】

西並木地区から虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

また、新たな南北軸としての交通ネットワークが構築されることとなり、新治地区から市街地への観光客誘導を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	真鍋神林線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H26決算額	398,773千円	財源内訳	国県支出金 219,080千円	地方債 174,100千円	その他	一般財源 5,593千円

【事業の概要】

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することで、市の広域的な地域間連携の強化を図ります。

- ・事業期間 平成24年度～平成27年度
- ・整備延長 L=1,320m  
幅員 W=12.0m

[平成25年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
公有財産購入費	66,170	用地取得費
工事請負費	36,000	道路改良工事
補償補填及び賠償金	30,901	補償金
合計	133,071	

[平成26年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	170,823	道路改良工事
公有財産購入費	57,396	用地取得費
補償補填及び賠償金	35,011	補償金
役務費等	2,472	不動産鑑定、補償物件再算定等
合計	265,702	

[平成27年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	240,577	道路改良工事
公有財産購入費	38,675	用地取得費
補償補填及び賠償金	12,919	補償金
役務費等	1,723	不動産鑑定、補償物件再算定等
合計	293,894	



位置図

【事業の成果】

中心市街地の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。また、本路線の隣接区域には新消防庁舎が建設中であることから、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセスも向上します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H26決算額	172,867千円	財源内訳	国県支出金 90,086千円	地方債 76,600千円	その他	一般財源 6,181千円

【事業の概要】

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。

- ・事業期間 平成24年度～平成28年度
- ・整備延長 L=2,900m  
幅員 W=14.0m

[平成25年度からの繰越分] (単位：千円)

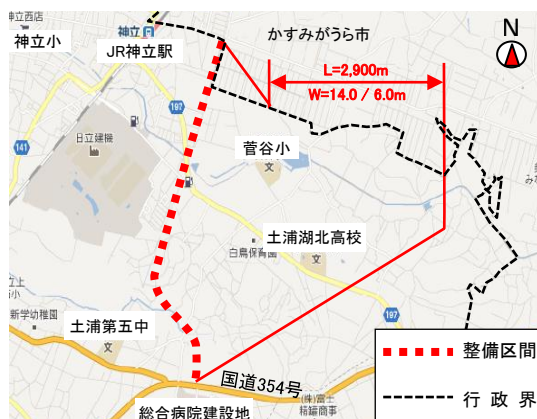
区分	事業費	概要
公有財産購入費	100,258	用地取得費
工事請負費	20,000	道路改良工事
補償補填及び賠償金	9,742	補償金
合計	130,000	

[平成26年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	26,459	道路改良工事
公有財産購入費	7,335	用地取得費
役務費等	9,073	鑑定料等
合計	42,867	

[平成27年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
補償補填及び賠償金	60,852	補償金
工事請負費	40,541	道路改良工事
公有財産購入費	24,265	用地取得費
合計	125,658	



位置図



整備状況写真

【事業の成果】

神立駅東地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野団地内等の交通アクセスが向上し、円滑な交通体系の構築に寄与します。

また、おおつ野団地内において総合病院の建設が進められており、病院へのアクセス向上が期待できます。



款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	公園・緑地管理事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備					
施策の内容	2 公園・緑地の整備					
H26決算額	32,971千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,700千円		28,271千円

**【事業の概要】**

良好な風致、景観を備えた地域環境を形成し、自然との触れ合いを通じて、心身共に豊かな人間形成を目的とします。

また、レクリエーションの場を提供するとともに、地震発生時の避難地・延焼防止の役割を果たし、災害後の復旧活動の拠点とします。

[平成25年度からの繰越分]

(単位：千円)

施設等名称	事業費	事業の概要
霞ヶ浦総合公園	2,484	風車塔修繕工事
合 計	2,484	

[平成26年度事業]

(単位：千円)

施設等名称	事業費	事業の概要
乙戸沼公園	5,421	桜樹診断、マコモ・花菖蒲植栽
(仮称)赤池公園	5,184	測量等委託
川口二丁目地内暫定広場	8,650	暫定広場芝吹付け等
霞ヶ浦総合公園	5,292	園路灯LED化工事
都市公園	5,940	遊具更新、フェンス修繕工事
合 計	30,487	



遊具更新工事



霞ヶ浦総合公園園路灯LED化工事

**【事業の成果】**

遊具・フェンスの改修や広場の整備等により、利便性・安全性の向上を図ることができました。

また、園路灯のLED化を実施し、電気使用量の削減を図りました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	新治運動公園整備事業 《合併特例債事業》
-----	----------------------

施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり
-------	---

施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備
-----	-------------------

施策の内容	5 運動公園の整備
-------	-----------

H26決算額	342,770千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				325,600千円		17,170千円

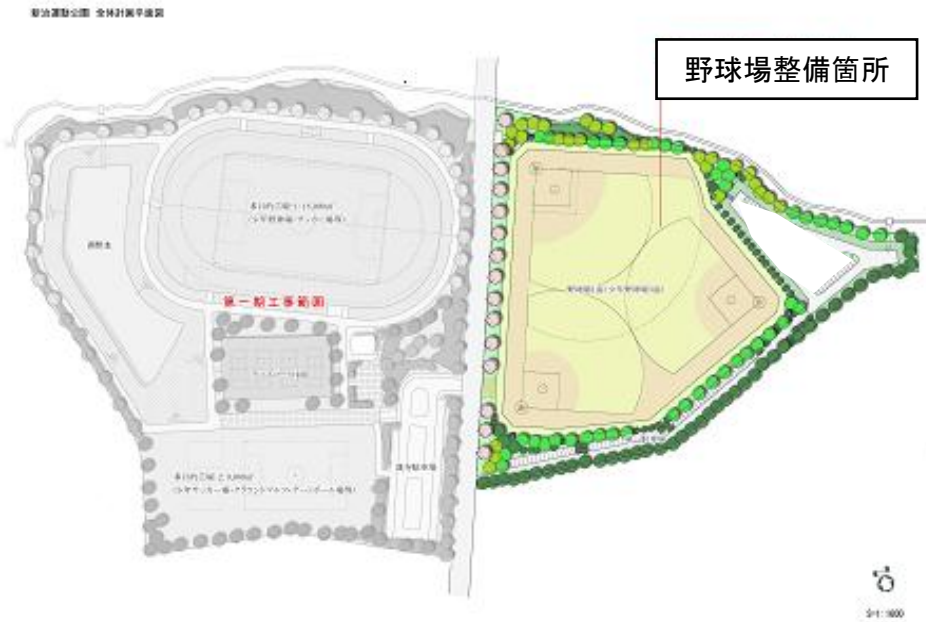
**【事業の概要】**

新治運動公園の整備を図り、県南地域の中核都市に相応した施設整備を推進することにより、市民の健康増進やスポーツ振興を図ることを目的として、野球場の整備を実施しました。

[平成25年度からの繰越分]

(単位：千円)

施設等名称	事業費	事業の概要
新治運動公園	342,770	野球場施設整備工事，用地測量委託
合計	342,770	



新治運動公園平面図

**【事業の成果】**

新治運動公園の機能更新と合わせて、県南地域の中核都市に相応した施設整備を推進することで、憩いの場の創造とともに、市民の健康増進やスポーツの振興に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	中心市街地活性化推進事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	5 中心市街地活性化施策の推進					
H26決算額	7,942千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 7,942千円

【事業の概要】

平成24年度に策定した「まちなかグランドデザイン」を具現化し、新たな中心市街地活性化基本計画（平成25年度認定）に位置付けるまちづくり事業を推進するため、中央一丁目及び川口二丁目の事業化を図るとともに、中心市街地における低未利用地の活用を推進する具体的な方策を検討しました。

また、川口二丁目地区については暫定活用として、筑波大学都市デザイン研究室の企画提案により、暫定広場を「三帆ひろば」として魅力ある空間整備を行いました。

[平成25年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	4,725	中心市街地まちづくり調査委託

[平成26年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	918	中央一丁目地区まちづくり委託
	2,000	霞ヶ浦の水辺を活かした魅力ある空間整備に関する実践的研究（筑波大学）
備品購入費等	299	霞ヶ浦の水辺を活かした魅力ある空間整備に関する実践的研究により整備した「三帆ひろば」の案内等
合計	3,217	



「三帆ひろば」（川口二丁目地内暫定広場）

【事業の成果】

中央一丁目地区及び川口二丁目地区については、民間事業者へのヒアリング調査や事業スキームの整理などを行ったことにより、また、低未利用地についてはモデルスタディ等による具体的な方策を検討することにより、中心市街地活性化に向けた事業化の推進が図られました。

なお、川口二丁目地区の暫定活用として、筑波大学都市デザイン研究室の企画提案により、「三帆ひろば」として魅力ある公共空間づくりを行い、憩いの場としての活用が図られるとともに、地元の幼稚園、小学校、中学校、高校の生徒が広場に展示する三角形のフラッグに描画するなど、協働によるまちづくりを实践し、愛着の持てる空間の形成が図られました。



款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	まちなか定住促進支援事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	3 まちなか居住の促進					
H26決算額	4,026千円	財源内訳	国県支出金 2,013千円	地方債	その他	一般財源 2,013千円

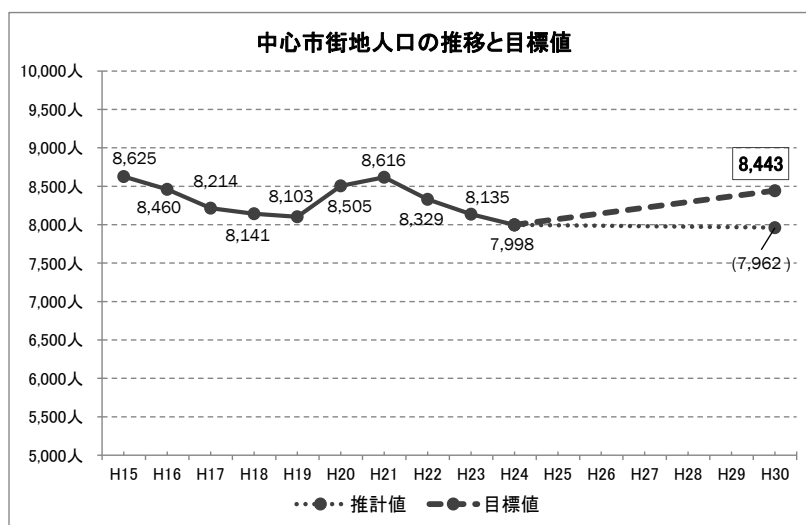
【事業の概要】

土浦市中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、中心市街地の定住促進を図る新たな支援制度により、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

- (1) 実施期間：平成26年度～平成30年度  
(平成26年10月1日開始)
- (2) 実施エリア：計画において定めた中心市街地内
- (3) 事業内容：①まちなか賃貸住宅家賃補助  
本市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助しました。  
②まちなか住宅建替え・購入補助  
中心市街地エリア内で住宅を建て替え、又は住宅を購入する者に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助しました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
①賃貸住宅家賃補助	76	交付決定：2件
②住宅建替え・購入補助	3,950	交付決定：8件
合計	4,026	



【事業の成果】

平成26年10月1日制度開始以降、家賃補助2件・建替え購入補助8件の申込みがあり、中心市街地への居住の促進が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	荒川沖木田余線（I期）整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H26決算額	27,626千円	財源内訳	国県支出金 6,225千円	地方債 4,500千円	その他	一般財源 16,901千円

【事業の概要】

都市計画道路荒川沖木田余線は、土浦駅周辺市街地の内外環状道路として国道6号を補完し、また、かすみがうら市や牛久市方面へ連絡する重要な幹線道路であり、平成26年1月に計画幅員を18mから25mに広げる都市計画決定を行いました。

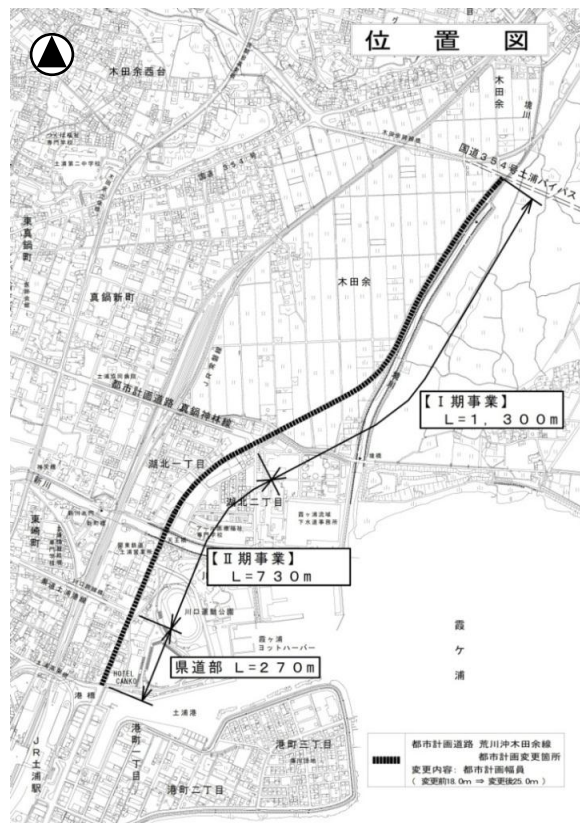
当路線の整備により、市内の道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるほか、通過交通の排除により、市街地の交通混雑緩和、安全性の向上が期待できます。

平成26年度は、真鍋神林線との交差点～国道354号バイパスとの交差点までの延長1,300mをI期事業区間として、基礎調査（測量、予備設計及び地質調査）を実施しました。

- ・整備延長（I期） L=1,300m
- ・計画幅員 W=25m

[平成26年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	8,640	測量
	7,668	予備設計
	11,318	地質調査
合計	27,626	



【事業の成果】

基礎調査の実施により、関係機関との協議資料や事業認可に向けた資料作成が完了しました。

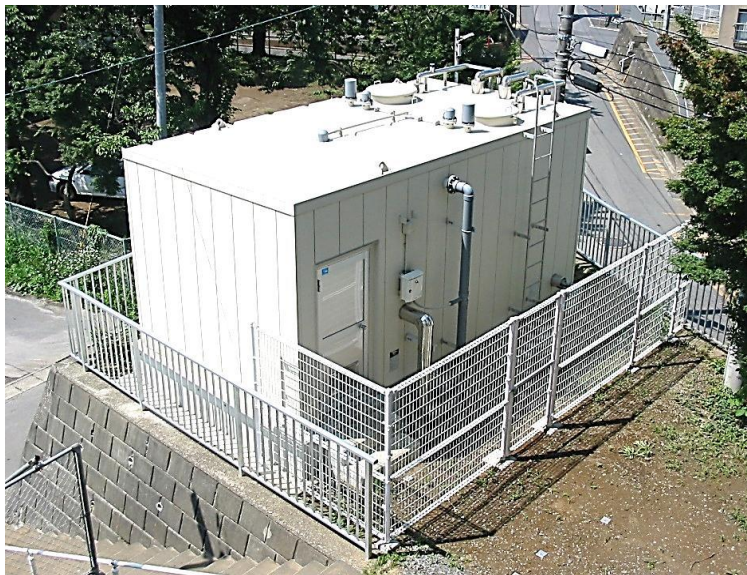
款	土木費	項	住宅費			
事業名	公営住宅管理運営事業					
施策の大綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施策名	7 良好な住環境の確保と市街地の形成					
施策の内容	2 市営住宅の充実					
H26決算額	74,304千円	財源内訳	国県支出金 37,152千円	地方債 37,100千円	その他	一般財源 52千円

【事業の概要】

市営住宅における居住環境を改善するため、受水槽設備の改修工事等を実施しました。

(単位：千円)

市営住宅の名称	事業の名称	事業費	概要
都和中耐住宅	受水槽設備改修工事	33,264	既存の地下式受水槽の撤去及び地上式受水槽(20㎡)の新設(1基)
都和テラス住宅	屋上防水改修工事	24,030	シート防水 10棟 1,522㎡
大岩田住宅	屋上防水改修工事	17,010	シート防水 3棟 1,284㎡
合計		74,304	



都和中耐住宅の新設受水槽

【事業の成果】

市営住宅における居住環境を改善するため、都和中耐住宅の受水槽設備の改修を行いました。また、都和テラス住宅及び大岩田住宅においては、屋上防水改修工事を実施したことで、更なる良好な住環境の確保及び入居者の生命と財産の安全を図ることができました。



款	土木費	項	住宅費			
事業名	住宅リフォーム助成事業					
施策の大綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施策名	7 良好な住環境の確保と市街地の形成					
施策の内容	3 快適な住まいづくりの支援					
H26決算額	15,819千円	財源内訳	国県支出金 7,909千円	地方債	その他	一般財源 7,910千円

**【事業の概要】**

市民の居住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、市民が市内施工業者を利用して個人住宅のリフォーム工事を行う場合に経費の一部を助成する事業を実施しました。

[助成要件]

助成対象となる住宅  
市民が所有し居住している住宅（併用住宅等は、居住部分のみ）

助成対象となる工事  
市内の施工業者を利用して行う10万円以上のリフォーム工事

[助成額]

工事費用の10%を助成（限度額10万円）

[平成26年度実績]

助成件数	193件
助成額	15,819千円
助成対象の工事費	264,521千円

[主な工事内容]

屋根や外壁の塗装、クロスの張替え、浴室（ユニットバス）、台所（システムキッチン）、トイレなどの住宅設備の交換

**【事業の成果】**

市内の施工業者を利用したリフォーム工事に対する助成を行うことで、住環境の向上及び地域経済の活性化が図られ、また、市民の負担軽減にも寄与しました。